

## おくたま農産だより

Vol.29

2025.9.10

## ご挨拶

農)おくたま農産  
代表理事組合長 小野寺勝義

まだまだ暑い日が続いています。でも夜は少し涼しくなり秋が感じられるようになりました。

テレビを見ていると九州の豪雨災害が気になりました。一晩で日常が奪われると改めて自然の驚異を感じさせられました。地球という巨大な生き物の前では人は小さく感じてどうすることもできず、記録的な酷暑や豪雨はこれからも続くのかな?などと考えながら。稲穂も垂れてきて収穫時期が近づいてきました。雨が降らず心配するくらい水の少ない状態でしたが何とかしのぎました。収量に影響がないか気になりますが皆さん協力を頂きながら秋作業を進めてまいります。

## 秋の収穫に向け準備万端 豊作を期待!

9月中旬から本格的に収穫作業が開始になります。圃場では収穫に向け色付き始めています。

【今後の予定】\*天候により変更あります。

- 9月12日 こがねもち収穫作業
- 9月16日～ WCS用稲の収穫・梱包作業
  - ・今年は400本ほどのラップを畜産農家に供給する計画です。
- 9月26日 コンバイン作業安全講習会
  - ・無事故目指し勉強会を開催!
- 9月29日～ ひとめぼれ収穫作業
- 10月1日～ 飼料用米収穫作業
  - ・たわわっこ、つぶゆたかの収穫
  - ・上奥玉水稻生産組合からの受託作業実施
- 10月下旬～ 大豆収穫作業



<発行人>  
農事組合法人 おくたま農産  
責任者 代表理事組合長 小野寺勝義  
連絡先 0191-56-2301  
E-mail okutama-nousan@tmt.ne.jp



ひとめぼれ圃場(金取沢)



こがねもち圃場(入山沢)



WCS用稲つきはやか圃場(坂下)



飼料用稲つぶゆたか圃場(沖中)



飼料用稲たわわっこ圃場(八幡前)



室根山と大豆畑(宿下圃場)



大豆リュウホウ圃場(沖中) 水不足で心配しましたが実入りは良好!



## 収穫作業機も準備万端

早い時期から整備を進めてきた  
コンバインも出動準備OK!

- ・稲刈りコンバイン 6台
- ・大豆用汎用コンバイン 2台
- \*カントリーへ収穫を搬入する  
2tダンプも準備万端です。

機械格納庫で待機するコンバイン! 約1ヶ月の稼働予定でオペレーター、運搬作業員含め20名以上で稲刈り作業をします。

## 令和7年度国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業を活用し

### WCS用（ホールクロップサイレージ）収穫機械を導入

8月20日に役員が納品確認検査を実施しました。



👉 機械後部で稲が梱包されます。（1m×1m）  
コンバインとロールベーラがひとつになった機械

↑自走式ラッピングマシーン

## 9月1日、大豆新品種「リョウユウ」の試験圃場で管内生産者が研修会

管内の大豆生産する農業法人の担当者等約30人が、おこたま農産の試験圃場で研修会が行われました。

この品種は、大粒率が高く、シワ粒や青立ち等少なく外観品質が優れ、ダイズシストセンチュウ抵抗性に強いことから収量・品質面で期待されています。



普及センター職員の説明を聞く生産者



試験圃場の様子（分かりづらいですが！）



たわわに実っています。

## フレームスフレーヤによる大豆病害虫防除

炎天下の中、作業員の皆様は大変ご苦労さまでした。

実施したのは紫斑病・マメシンクイガ等の防除：1回目（8/22～）、2回目（9/1～）各5日間・2台体制



## カモも間もなく旅立ちか

町下停留所の向かいにある『みせみど』で、カモがたくさん繁殖しています。最初は2羽くらいだったのが夕方には20羽くらい並んでいます。間もなく水戸の水を落とす時期となるのでそろそろ旅たちか……



「みせみど」の全景

カモが休憩中、夕方には20羽くらいに。

親子で遊んでいます。（たぶん）

サギとカモ！

## 加工部だより

※10月より、今年1月から仕込んだ味噌を提供できる予定です。お楽しみに！

※これから年末に向け、お歳暮とかの贈り物に米・味噌のセットを検討しております。

何か要望・意見がありましたら連絡下さい。

例えば)・東京の親戚に米と味噌を送りたいので贈答セット作って欲しい！

・孫が出来たので生まれた時の体重と同じ米俵か米袋を

写真入りで贈り物にしたい。

\*こんなセット欲しいなというご意見、ご要望待ってます。

### 編集後記

農家の一番の期待と喜びは秋の収穫作業です。春の種まきから始まり、病害虫防除、皆さんにご協力頂いた草刈り作業。作物が大きくなるにつれ喜びを感じるとともに心配事も出てきます。今年は特に記録的な高温少雨で水管理は大変でした。収穫作業が始まると1年間の成果がはっきりしてきます。皆さんで笑って喜びあえるように豊作を期待します。（菅原）